

心に残っている あのこと このこと

## 福島第一原発事故10周年にあたって

2021年3月11日

放射線から子どもたちを守る三郷連絡会 代表 大場敏明

クリニックふれあい早稲田 副院長 大場文江

10年前の2011年3月11日(金)に発生した東日本大震災では、巨大地震と津波の二重の天災が東日本を広く襲いました。中でも稼働中であつた福島第1原子力発電所では1号機、2号機、3号機の3機が爆発し放射性物質を東日本に広くまき散らす事態が発生し、原発周辺住民に避難指示を出されるなど未曾有の原子力災害となりました。

そして、放出された放射性汚染物質はここ三郷市にも大量に飛来し、近隣の吉川市・流山市などとともにいわゆるホットスポットになってしまいました。放射線被ばくへの感受性は、特に子ども、妊婦(胎児)が高いと言われています。私たちは三郷の子どもたちが将来健康被害を発生しないように何が出来るかを考え、市へ提言し、市民による空間放射線量測定を行ったり、勉強会・講演会などを開催してきました。

この大災害は、「絶対安全」と言われて原発を受け入れていた福島県民にとっては、十分な地震や津波への備えを欠いたための人災でもありました。避難住民の数は、福島県の集計によればピーク時に16万5千人と言われ、2021年1月現在は3万7千人とされています。しかし、県内の各自治体が避難者とする総数は少なくとも6万7千人超に上ると言われています。



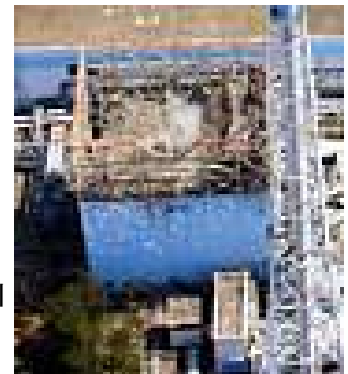
県立三郷公園で空間放射線量測定中

さらに福島第一原発の現状をみると燃料デブリを大量の水で冷却せざるを得ない現実が続いており、また冷却水量の制御もできていないため、排出できない汚染した冷却水が敷地に保管できる限界に達しようとしています。福島第一原発の廃炉作業も高い放射線量のために進んでおらず、その終了時期は見通せていないままです。

このように社会的にも技術的にも原発事故は終了していませんが、一方で事故発生に関する国の責任を認める仙台高裁判決(2020年9月30日)および東京高裁(2021年2月19日)の判決が出され、国の責任は、社会的に認知されてきています。

しかし、福島県の子どもたちを中心とした被ばくによる健康被害についての調査は200人を越える小児甲状腺がんの発生をみても原発事故との因果関係がまだ明らかになっておりません。さらにこの検査を縮小しようという議論が進められ、企業および国の責任があいまいなまま被害者だけが取り残されるという危険性が増しつつあります。

さらに、引き続き活発な地震活動が続いている中、十分な事故処理のできていない福島第一原発や再稼働中



建屋崩壊 朝日新聞から

の原発に再度大規模な損傷を起こす事態が生じないとは限りません。東海第2原発の再稼働もこのような危機感をもって対処すべきと考えます。

私たちはこのように福島第一原発事故の本質的な解決に至っていない現状で、復興五輪であるとか、新型コロナ騒ぎにより福島第一原発事故を過去のこととして葬り去ろうとするような動きには反対の意思を表明し、福島第一原発事故の真の意味の後処理をきちんと完了するまで国と企業の責任を果たすよう要求するものです。

事業所 あれこれ

## 人生のストーリー



～それぞれの役割に応じた生きがい構築の支援～

グループホームアカシアの家  
施設長 武澤 理恵

皆さん、こんにちは！4月からグループホームアカシアの家の施設長に就任しました武澤です。今回はアカシアの家の職員や入居者さんの“役割”に注目して紹介していきたいと思います。

### 【入居者さんの一日】

入居者さんは私達と何も変わらない日常生活を送っています。グループホームに入居してもその部分は何一つ変わりません。朝起きて、ご飯を食べて、夜寝ます(事情があって寝れない人も中には居たり、たまにテレビを見て夜更かしている人も居ます!)。そんな一日を当たり前で過ごしてもらうことが実はグループホームで一番力を入れている支援です。

でも、気をつけないといけないのは、認知症と共に生きている入居者さん達の中には自分で生活のリズムを作れなかったり、修正できない方も多くいます。いわゆる昼夜逆転をしたり、昼夜逆転はしていないけど、昼間もただ椅子に座って居眠りしていることになったりしてしまうことが良くあります。

基本的には入居者さんの生活のリズムに沿って必要な支援をしますが、午前中にはラジオ体操など体を動かすきっかけを作ります。後は散歩に出掛けたり、ご飯を何にするか相談をして一緒に作ったり、あれこれ言いながら一緒に食べたり♪食器の片付けなんかも入居者さんの役割です。

### 【生活の中の色々な役割】

それぞれの個性や能力に応じた、様々な役割を入居者さんには担ってもらっています。“新聞を取りに行き、門を開ける”が一番先に起床してきた方の役割です。必ずAさんがやるのではなくて、一番先に起きてきた人がカーテンを開けて、新聞を取りに行きます。これはスタッフが促してそうしているのではなくて、入居者さん達が自ら行ってくれます。なので、スタッフはある意味何もしません(笑)。一人で出て行って転ばない? 居なくなったりしない? なんて心配の声が聞こえてきそうですが、大丈夫!! 皆さんアカシアの家を“居場所”として認識してくれているので、スタッフは遠目に安否確認をする位です。その他にも洗濯物をたたんだり、干したり、ご飯を作ったり、食器を洗ったり・・・家事を中心になって職員以上に働いてくれる人も居ます。ある人は新聞の内容を簡単にメモにまとめてスタッフに教えてくれたりもします。リビングでニコニコ♪急に歌いだして皆を癒してくれる人も居ます。これが出来ないからとかではなくて、こんなことがこの人はできる!! そんな風にそれぞれ補い合いながら日々生活しています。やったことのないことでも、やる気になってくれるなら一緒に挑戦します! でも、なかなか素直にやってもらうのは難しかったりしてどうしたら自主的にやってくれるかな? やって良かったと思ってもらえるにはどうしたら良いかな? なんて日々入居者さんとは知恵比



べの毎日です。(皆さん長年の人生経験から手強い・・・♪)

【それぞれの人生のストーリーを大切に】



先日、団地の自治会をやっていた頃に桜の植樹をしたらしいという話  
をあるスタッフから教えてもらい花見がてら見にいきました♪ それぞ  
れの人生の輝いた1ページと一緒に確認できるのは介護職冥利につきま  
すね♪

一人ひとり違う人生、価値観で生きてきた入居者さん達の一つ屋根の  
下で暮らすことで時には言い争いになってしまうことも少なくありません。

それぞれが大切にしていることを大事にしつつ、スタッフとして共に生  
きていくことを支援し続けていきたいとそんな風に思いながら、今日も知  
恵比べしています♪

アカシアの家を今後もよろしくお願ひします。

《法人の動向》

【新型コロナワクチン接種について】

4月23日、三郷市でも65歳以上の方に接種券が発送されました。当面は集団接種で三郷市勤労者体育館と5病院（尾内病院、埼玉みさと総合リハビリテーション病院、三愛会総合病院、永井マザーズホスピタル、みさと協立病院）となっていますが、どこの医療機関も職員の接種が終わり、その内副反応者（発熱、頭痛、下痢、嘔吐などの症状）が5割を超えました。この事から十分注意が必要との判断で直ちに接種できる状況にはなっていません。政府は、ワクチン接種が「速やかにできるから安心して下さい」と言いますが医療現場では第4波で増え続ける陽性者への対応に医療従事者の疲弊と医療が逼迫している状況が続いています。この様な状況の中でオリパラ組織委員会は日本看護協会に対しオリンピック開催に当たり5日以上働ける看護師500名を要請しています。今はオリンピックへの看護師配置ではなく、人命を守る医療現場を最優先すべきと強く思います！

ちよつと いい話

切り絵の“魔力”に魅せられて

地域活動支援センターパティオ

地域活動支援センターパティオにある「ざ☆香作」というプログラムにて「切り絵」にトライしています。きっかけは、利用者のTH氏の趣味であると聞いていたことと、その作品の技術の高さに注目したからです。

コロナ禍の中プログラムに苦慮していたので、「頼む、THさん。切り絵を教える形でプログラムの運営を助けてほしい。」と声掛けをしました。快く引き受けてくれたのは言うまでもありません。「これはね、」「それはね、」「だから、、、」と歯切れよい、手厳しいTH師匠のもとに昨年12月から続いています。いくつかの昨品をご覧ください。さらに技術を高めて、作品展と称するものに出品を目指すというか、、、したいなあ。

THさんに、切り絵の魅力を聞いたところ、「(制作中)無心になれる」と。「無心」いい響きですねえ。(今野)





<  time ～私の楽しみ～ >

## おうち時間の過ごし方 ～しいたけと暮らす～

アカシア会介護部 寺田 慎

コロナ禍になって、趣味の釣りですら感染のリスクが高まり、海に行くのにも躊躇しなければいけない我慢の毎日。つまらない・・・そんな毎日を少しでも楽しい物にしたい！！と思って買ったのがこれ！わかりますか？しいたけの栽培キット♪



初めて買ったんだけど、ただ湿らせてジメジメさせてあげるだけ♪ 最初の数日は育つか？これで良いのかな？って不安の数日でしたが、芽が出始めたら数日でこの大きさまで成長します！！ なんだか子供を育てるみたいに毎日観察して水あげて、収穫して♪食べて♪成長が早くて収穫まであっという間！ しいたけ嫌いな我が家の子供たちに少しでも興味もってもらって、食べるきっかけに～♪なんて思いましたが、親の心子知らず

・・・そんなに上手くはいきませんでした。ただ、夫婦の中ではなんだか可愛いね～♪なんて言いながらすくすく育つきのこに癒されたおうち時間なのでした！ 色んな体験キット売ってるので、コロナ禍で自粛が求められる今、皆さんも是非体験してみたいかたがでしょう♪ 肝心な味は、しいたけの味でしたよ(笑) 若干、風味は落ちるけど、愛情分で美味しかったです♪

### 皮算用

ペースがちょっと空きました。余白を使って一言。

家の庭にプラムの木があります。4年前に美味しい実がなり相談センターなどで美味しく頂きました。その後、なかなか実らず今年はとっていたら青い実が多くなっています。ひょっとしたら今年は期待が出来るかもしれません。

“捕らぬ狸の皮算用”かもしれませんが、実ったら皆さんにおすそ分けします。期待しないで待ってください。  
(Na)



今 青い実が

こうなってほしいなあ



4年前に実った食べ頃のプラム

### 【編集あれや これや】

東日本大震災から 10 年がたちました。私たちの多くがいまだ経験したことの無い強い揺れにおびえ、16 mにも及ぶ高い津波の押し寄せる映像を報道で目の当たりにする...この記憶は今でもとても 10 年前のこととは思えないほど、鮮烈なものでした。その後の福島第一原発事故によって放出された放射線の脅威も数々の悲劇を生んだといえるでしょう。ホットスポットとなったここ三郷市の取り組みを通じて「放射線から子どもたちを守る三郷連絡会」代表の大場理事長と大場文江副院長から「声明」が寄せられました。私たちは今後数回にわたってインタビュー記事などを企画し、その取り組みと現状をお伝えします。(菊)